

特定非営利活動法人(NPO 法人)シニアサロン井戸端会議

令和 6 年度 定時総会

(令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日)

日時 令和 7 年 11 月 28 日 (金) 16 時～17 時

場所 木町通市民センター (5 階会議室)

- 1 開会宣言 司会進行 上林副理事長
- 2 挨拶 羽田理事長
- 3 定足数の確認
- 4 議長選出
- 5 議事録署名人の選任 (2 名)
- 6 議事
 - (1) 第 1 号議案 令和 6 年度事業報告
 - (2) 第 2 号議案 令和 6 年度決算報告
 - (3) 監査報告
 - (4) 第 3 号議案 令和 7 年度事業計画案
 - (5) 第 4 号議案 令和 7 年度事業予算案
 - (6) 第 5 号議案 役員変更の件
 - (7) その他
- 7 閉会
- 8 大忘年会 (総会 終了後)
 - ・日 時 令和 7 年 11 月 2 日(金) 17:30 時より
 - ・場 所 『ふじはる』
 - ・会 費 4,500 円
 - 司 会 渡部専務理事
 - 挨 拶 羽田理事長
 - 乾 杯 大島理事
 - 中締め 三浦理事

以上

令和6年度事業報告

(令和6年10月1日～令和7年9月30日)

特定非営利活動法人シニアサロン井戸端会議

第1 事業の成果

1 事業全般に関する総括

昨年度は、前年度同様井戸端塾等のセミナーや同好会活動を中心として活動した。特に、「井戸端塾」は通算164回を数え、当法人のメイン事業として定着している。また、「デジ活アカデミー」も昨年度は9回実施し、いずれも一定数の参加者を得るとともに、参加者からは高評価をいただいている。

一方、コロナ禍の影響や担当者の高齢化によりイベント数が減少傾向にあり、それに伴って会員数の減少傾向が進んでいる。

こうした傾向は当初から予測できたことではあるが、イベントを担うスタッフの高齢化や人材不足のため対策に決め手を欠いたことは否めない。

2 事業別の活動状況

(1) 特定非営利活動に関する事業

ア 地域コミュニティ形成に関わる事業

(ア) 井戸端塾

9月末で通算164回を重ね、運営も軌道に乗り、当法人のメイン事業として定着している。

(イ) デジタル活用アカデミー（デジ活アカデミー）

当セミナーは、2024年5月に発足し、今年度は講演会や見学会を9回実施した。

講演会は、マイナンバー、終活等をテーマにそれぞれ専門家を講師に招いて実施し、見学会は、東北メディカルメガバンクや仙台市天文台等デジタル最先端技術を見学した。

(ウ) シニアの拠点づくり

各種イベント、同好会活動を通して会員同士の交流が進み、シニアの拠点作りとして一定の役割を果たしたと思われるが、冒頭に述べたとおり、担当者の高齢化等によりイベント数が減少したため必ずしも十分とはいえなかった。

(エ) 井戸端かわら版の発行

人手不足等により昨年度は発行されなかったが、広報ツールとしての役割は大きい。来年度は再開に向けて編集体制の見直しが求められる。

(オ) ホームページ・LINEの活用

一昨年新ホームページに移行後使い勝手は格段に良くなり、情報ツールとしての機能を十分発揮している。

また、理事ラインネットの活用により理事相互の意思疎通と情報交換が活発になされた。

イ 事業創出及び雇用創出に関する事業

他団体との連携強化

- ① 昨年度に引き続き仙台市民活動サポートセンターとの連携を維持した。
- ② 日本セカンドライフ協会(JASS)の情報をホームページに情報を掲載し、会員が情報を得られる環境を整備した。また、会員が主催するライブ活動がJASSのホームページに掲載された。

ウ 健康増進に関する事業

「健康寿命を延ばす会」(ほぼ毎月)や「井戸端ゴルフコンペ」(冬期間を除く隔月開催)等の同好会が実施されたほか、「井戸端塾」の中で健康増進に関するテーマを選定して会員の健康増進に寄与した。

エ 社会貢献に関する調査活動事業

(7) お助け隊

支援要請がなかったこととスタッフの確保が難しかったこともあり、実施できなかった。

(1) 非居住住宅見守り隊

現在休止状態となっている。

オ シニアのネットワーク構築

デジタル時代に取り残されないようにするため、デジタル端末の操作習熟を目的として一昨年発足した「デジタル学びの会(後に「スマホ寺子屋」と名称変更)は、通算37回を数え、回を重ねるごとに会員のスキルが向上している。

(2) 法人運営に関する事業

(7) 総会

総会は例年通り年1回、11月に開催した。また、総会後に近くの居酒屋において忘年会を実施し、会員同士の情報交換と親睦を深めることができた。

(1) 理事会

理事会は昨年12月と本年6月に開催し、それ以外の月は、理事同士の意思の疎通と情報交換を兼ねて原則月1回「理事懇談会」を開催した。

(3) 課題

ア 事務局の設置

事務局の設置は法人の事務を円滑に進めるために不可欠であるが、スタッフの確保には至っていない。円滑な事務処理を行う上でも引き続きスタッフの確保のための取り組みを継続する必要がある。

イ 財源の確保

法人の収入は会費収入が大部分を占めているが、会費収入のみでは法人を運営するには十分とはいえない状況である。これまでも助成金を含め収益が見込まれるイベントの企画を模索してきたが、今後はより実効性のあるイベント等を企画・実施

していく必要がある。

ウ スタッフの高齢化

活動の中心となっている創設時のメンバーが高齢化しているため、スタッフの若返りが喫緊の課題である。

決 算 報 告 書

(令和6年度)

自 令和6年10月1日
至 令和7年9月30日

特定非営利活動法人シニアサロン井戸端会議

宮城県仙台市青葉区木町通 1 - 4 - 3 7

活動計算書

特定非営利活動法人
シニアサロン井戸端会議

自 令和06年10月 1日

至 令和07年9月30日

(単位:円)

I 経常収益

1 受取会費		
正会員受取会費		¥352,000
2 受取寄附金		¥676,000
3 受取助成金		¥0
4 事業収益		
地域コミュニティ形成に関する事業収益	¥49,321	
事業創出に関する活動事業収益	¥0	
健康増進に関する活動事業収益	¥409,700	
社会貢献に関する活動事業収益	¥1,200	
シニア世代間のネットワーク構築・情報交 換の場の提供に関する事業収益	¥60,510	¥520,731
3 その他収益		
受取利息	¥9	
会議費	¥135,000	
事務所使用料	¥3,000	¥138,009
経常収益計		<u>¥1,686,740</u>

II 経常費用

1 事業費

(1) 人件費

給料手当		
人件費諸費用	¥0	
人件費計	¥0	¥0

(2) その他経費

地域コミュニティ形成に関する事業経費	¥0	
事業創出に関する活動事業収益	¥0	
健康増進に関する活動事業収益	¥422,165	
社会貢献に関する活動事業収益	¥0	
シニア世代間のネットワーク構築・情報交換の	¥40,827	¥462,992

事務用品・消耗品		¥71,327
広告宣伝費		¥0
振込手数料		¥10,606
雑費		¥0
借入金返済(短期)		¥0
借入金返済(長期)		¥39,000
支払利息		¥30,956
会議費		¥208,045
その他経費計		¥822,926

事業費計

¥822,926

2 管理費

(1) 人件費

給料手当	¥0
人件費諸費用	¥0

(2) その他経費

旅費交通費	¥0
通信費	¥79,156
事務所管理費	¥120,000
支払家賃	¥585,000
保険料	¥0
水道光熱費	¥25,838
消耗品等	¥0

事務用品費	¥0	
広告宣伝費	¥0	
租税公課	¥50,000	
支払手数料	¥0	
諸会費	¥0	
雑費	¥0	
その他経費計	¥0	
管理費計		¥859,994
経常費用計		¥1,682,920
当期経常増減		¥3,820
III 経常外収益		
前受け金繰り込み		¥0
経常外収益計		¥0
IV 経常外費用		
前受け金		¥0
経常外費用計		¥0
税引前当期正味財産増減額	¥42,820	
法人税・住民税および事業税	¥0	
当期正味財産増減額	¥42,820	
前期繰越正味財産	(¥2,046,845)	
次期繰り越正味財産	(¥2,004,025)	

貸 借 対 照 表

(単位:円)

特定非営利活動法人シニアサロン井戸端会議 令和07年9月30日現在

		<u>資 産 の 部</u>	
【 流 動 資 産 】			
現 金		¥39,501	
預 金		¥14,274	
流 動 資 産 計			<u>¥53,775</u>
【 固 定 資 産 】			
(有 形 固 定 資 産)			
建 物 付 属 設 備		¥0	
什 器 備 品		¥0	
有 形 固 定 資 産 計			¥0
(無 形 固 定 資 産)			
電 話 加 入 権		¥15,200	
無 形 固 定 資 産 計			¥15,200
(投 資 そ の 他 の 資 産)			
敷 金		¥0	
長 期 前 払 費 用		¥0	
投 資 そ の 他 の 資 産			¥0
固 定 資 産 合 計			<u>¥15,200</u>
【 繰 上 資 産 】			
繰 上 立 費		¥0	
繰 上 資 産 合 計			<u>¥0</u>
			<u>¥68,975</u>
		<u>負 債 の 部</u>	
【 流 動 負 債 】			
買 掛 金		¥0	
短 期 借 入 金		¥0	
未 払 費 用		¥0	
未 払 法 人 税 等		¥0	
前 受 け 金		¥0	
預 り 金		¥0	
流 動 負 債 合 計			<u>¥0</u>
【 固 定 負 債 】			
長 期 借 入 金		¥2,073,000	
固 定 負 債 合 計			<u>¥2,073,000</u>
負 債 合 計			<u>¥2,073,000</u>
		<u>正 味 財 産 の 部</u>	
設 立 時 正 味 財 産 額		¥0	
前 期 繰 越 正 味 財 産 額		¥-2,046,845	
当 期 正 味 財 産 増 減 額		¥42,820	
正 味 財 産 合 計		¥-2,004,025	
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計			<u>¥-2,004,025</u>

令和6年度 財産目録

令和7年9月30日現在

特定非営利活動法人シニアサロン井戸端会議

(単位：円)

科	目	金	額
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金		
	手元現金	39,501	
	仙台銀行普通預金		
	郵貯銀行普通預金口座	14,274	
	郵貯銀行振込用口座		
	現金預金計		53,775
	原材料		
	流動資産合計		53,775
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	建物付属施設	0	
	什器備品	0	
	有形固定資産計		0
	(2)無形固定資産		
	電話加入権	15,200	
	無形固定資産計		15,200
	(3)投資その他の資産計	0	
	敷金	0	
	長期前払費用	0	
	投資その他の資産計	15,200	0
	固定資産合計		15,200
3	繰延資産		
	創立費	0	
	繰延資産合計		0
	資産合計		68,975
II	負債の部		
1	流動負債		
	買掛金		0
	短期借入金		0
	理事借入金		0
	未払金		0
	未払法人税等		0
	前受け金		0
	預り金		0
	クーポン券		0
	流動負債合計		0
2	固定負債		
	長期借入金		
	日本政策金融公庫借入金	2,073,000	
	固定負債合計		2,073,000
	負債合計		2,073,000
	正味財産		▲ 2,004,025

第3号議案

令和7年度事業計画

(令和7年10月1日～令和8年9月30日)

1 事業方針

今年度は、昨年度の実績を踏まえ、シニアを対象としたセミナー等の充実・強化及び同好会活動の活性化を図る。また、デジタル社会に対応するためシニアのための情報端末の操作を目的とした取り組みを強化する。

2 事業目的ごとの具体的事業

(1) 地域コミュニティ形成に係る事業

ア 「井戸端塾」の充実

「井戸端塾」は当法人のメイン事業として定着しているが、今年度は内容の更なる充実と参加者の一層の拡大を図る。また JASS と連携し、相乗効果による拡大を図る。

イ 機関誌「井戸端かわら版」の発行

昨年度は人員不足のため発行できなかったが、「井戸端かわら版」は法人の情報ツールとして重要な役割を担っていることから、少なくとも年1回の発行を目指したい。ただし、発行のためには多大な労力と特定のスタッフに過重な負担がかかるため、会員の皆さんの協力を得て負担を分散させる工夫が求められる。

ウ 改定パンフレットの活用

昨年度改定された井戸端会議パンフレットを当法人のPR及び新規会員勧誘のツールとして積極的に活用する。

エ ホームページの活用

ホームページのさらなる活用促進を図るため、会員への周知徹底を図る。

(2) 事業創出及び雇用創出に係る事業

ア 行政との連絡を密にし、助成金の確保、新規事業の可能性を追求する。

(3) 健康増進に関する事業

ア セミナー「井戸端塾」の中で健康に関するテーマを積極的に取り入れる。

イ 健康増進を目的とした同好会の活動を積極的に支援する。

(4) 社会貢献に関する事業

ア 「井戸端お助け隊」の事業拡大とスタッフの確保

「井戸端お助け隊」は、潜在的なニーズはかなり多いと見込まれるが、派遣スタッフも高齢者である場合が多いことから、スタッフの確保が困難なのが実情である。

今年度はこうした要請に応えるため、他団体との連携も含めスタッフの増員と仕事の受注の拡大に取り組みたい。

なお、「井戸端お助け隊」の事業に関連し、要請があれば空き家の見守りを事業として取り入れることも検討する（「非居住住宅見守り隊」は当面休止）。

(5) 震災復興等に関する支援活動

ア 昨年同様震災復興等に関する支援活動を行う。

(6) シニア世代のネットワーク構築等に関する事業

ア 各種同好会、イベント及びその後の懇親会を通じ、会員以外のシニアも含めた交流が深まるよう活動を支援する。

イ 機関誌「井戸端かわら版」、ホームページ等の情報ツールを充実し、当法人の活動状況だけでなくシニア世代に共通するタイムリーな情報発信を行う。

ウ スマホ・パソコン等の情報端末の操作に不慣れな会員のためのセミナー（スマホ寺子屋等）を充実・強化する。

エ 同好会活動

当法人のコンセプトである「楽しみながら社会貢献」は、主に各種同好会を通して実現されることから、同好会活動の活性化とさらなる充実を図る。

3 法人運営に関する事業

(1) 令和6年度通常総会

令和7年11月に忘年会を兼ねて実施する。

(2) 理事会・理事懇談会

ア 理事会は原則として年4回開催する。

イ 理事懇談会は、理事の情報交換と現状認識の共有を目的として、原則として月1回程度実施する。

4 その他

(1) 事務局の設置

今年度も引き続き事務局の設置に向け人材の確保に取り組む。

(2) 財源の確保

ア 事業収益の確保

現在実施している収益事業（お助け隊、かわら版の広告収入、井戸端塾の参加費等）を拡大し、収益を確保する。

イ 各イベントの収支を明確にし、収益は四半期ごとに本部に納入することを徹底する。

ウ 助成金の獲得

助成金について情報収集し、可能性のあるものについてはチームを作ってアプローチする。

エ 各企業・団体からの寄付金・広告収入の獲得のための活動を強化する。

オ 予算の効率的執行

第4号議案

NPO法人シニアサロン井戸端会議

令和7年度事業予算案(案)

令和7年10月1日から令和8年9月30日

(1)収入の部

科 目	予算額	備 考
正会員年会費	¥330,000	(内訳) 60名X5,000円+家族会員
新規会員年会費	¥30,000	(内訳) 6名X5,000円
協賛金・寄付金	¥30,000	協賛金20000円
寄付金	¥540,000	家賃に充当
地域コミュニティに関する事業	¥100,000	井戸端かわら版広告(年1回),井戸端塾
健康増進に関する事業	¥500,000	ウォーキング・健康の会
社会貢献に関する事業	¥5,000	井戸端お助け隊
ネットワーク構築に関する事業	¥180,000	各種同好会
会議費	¥50,000	総会、部会会議費
雑収入	¥10,000	広告収入など
収入合計	¥1,775,000	

(2)支出の部

科 目	予算額	備 考
(事業費)－活動費		
地域コミュニティに関する事業	¥50,000	井戸端かわら版(年1回発行)
健康増進に関する事業	¥500,000	ウォーキング・健康の会
社会貢献に関する事業	¥3,000	井戸端お助け隊
ネットワーク構築に関する事業	¥180,000	各種同好会
活動費－計	¥733,000	
(事業費)－諸経費		
通信費	¥30,000	
水道光熱費	¥30,000	
事務用品・消耗品	¥100,000	
宣伝広告費	¥0	
支払い手数料	¥15,000	
長期借入金返済	¥36,000	
支払い利息	¥30,000	
予備費	¥50,000	
諸経費－計	¥291,000	
(管理費)		
家賃	¥540,000	
管理費	¥45,000	
諸会費	¥0	
会議費	¥166,000	
管理費－計	¥751,000	
支出合計	¥1,775,000	

第5号議案（役員変更）

1 任期満了退任

理 事 小澤健一（副理事長）

理 事 菊池理恵子（副理事長）

理 事 渡部智子（専務理事）

理 事 尾張はるみ

監 事 横濱敬子

2 辞任

理 事 三浦秀彦

理 事 三浦協子

3 新役員

別紙名簿（案）のとおり

令和7年度新役員名簿（案）

特定非営利活動法人 シニアサロン井戸端会議

	役名	ふりがな 氏名	備考
1	理事長	ほねだまさゆき 羽田正行	
2	副理事長	かみばやし ひろし 上林博	
3	副理事長	わたなべともこ 渡部智子	
4	副理事長	おおしままさあき 大島真彰	
5	理事	かじ いさお 梶 功夫	
6	理事	さとう たもつ 佐藤 保	
7	理事	ふるせかつや 古瀬勝也	
8	理事	おおとも かおる 大友 馨	
9	監事	すどうけいいち 須藤圭一	